

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-527418 (P2004-527418A)  
 【公表日】平成 16 年 9 月 9 日 (2004.9.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-035  
 【出願番号】特願 2003-501698 (P2003-501698)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 C 25/12 (2006.01)**

**B 6 0 C 19/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 C 25/12 A

B 6 0 C 25/12 C

B 6 0 C 19/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周方向の変化を有するパラメータの極値を示すマーキングを有するタイヤをホイールリムに取付ける方法において、タイヤの少なくとも 1 つのビードの領域が少なくとも初めの膨らまし段階中に保持され、前記領域はタイヤに設置された前記マーキングにより方位化されることを特徴とするタイヤをホイールリムに取付ける方法。

【請求項 2】

マーキングはタイヤの半径方向荷重の変化の調波 H1 の最大値の位置を示すことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記領域が前記マーキングと一致することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

タイヤは平均不完全丸さの調波 H1 の最大値がマークされるところでホイールに取付けられ、タイヤ上のマーキングは取付け中、ホイール上のマーキングに直径方向に対向されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

タイヤは平均不完全丸さの調波 H1 の最大値がマークされるところでホイールに取付けられ、タイヤ上のマーキングは取付け中、ホイール上のマーキングの半径と同様な半径に位置決めされることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

周方向変化を有するパラメータの極値を示すマーキングを有するタイヤをリムに取付けるための装置において、少なくとも初めの膨らまし段階中にタイヤの少なくとも 1 つの側壁部の領域に支持力を及ぼすためのツールが設けられており、前記領域が前記マーキングにより方位化されていることを特徴とするタイヤをリムに取付けるための装置。